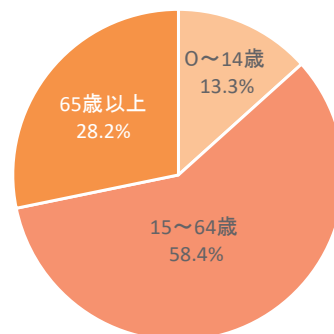


名細地区福祉プラン

名細地区は市の北西部に位置し、「名細」の名前の由来については、「美しい(=細)土地(=名)」を意味する枕詞から来ていると言われています。地域内には、国指定の史跡「河越館跡(常楽寺)」や市指定の無形民俗文化財「鯨井の万作」等があります。平成22年には、小畔川沿いに「資源化センター」が完成し、平成24年になぐわし公園温水利用型健康運動施設「ピコア」がオープンするなど、地域のさらなる発展が期待されています。

■人口	29,905人
■世帯数	13,687世帯
■民生委員・児童委員数	43人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	9人
■ボランティア団体数	18団体
■老人クラブ数	10クラブ
■福祉施設数	41施設

■年齢別割合



活動目標1 だれもが参加できる交流の場をつくろう

- ◆自治会や地区社協等が実施するイベント等に参加し、交流の輪を広げます。
- ◆高齢者の方々が気軽に参加したくなるような魅力ある活動の場(サロン、健康教室など)を提供します。
- ◆高齢者と子どもたちが一緒に活動する多世代の交流の機会を作るため、地区社協、自治会、育成会などのネットワークづくりを進め、地域の活動を活性化させます。

活動目標2 だれもが暮らしやすい地域を作ろう

- ◆あいさつや声かけ等をきっかけに、隣近所との付き合いを広げます。
- ◆見守り活動や家事支援サービスの充実を図るため、ボランティアを募集し、地域の協力者を増やします。
- ◆民生委員・児童委員や自治会は、見守り活動が必要な要援護者の同意のもと情報カード等を作成し、要援護者の状態や身内の連絡先などを把握し、もしもの時に備える仕組みを図ります。
- ◆防犯パトロールを行い、安心安全な地域づくりに努めます。

活動目標3 災害に備える取組を充実させよう

- ◆自主防災会を中心にハザードマップで地域の特性を知ります。
- ◆災害時には地域ぐるみで声かけなどを行います。特に避難支援が必要な方には避難行動を支援します。
- ◆災害時に備え自治会、各種団体は、日常よりネットワークで情報を交換し、同意に基づいた個人情報などを共有し連携を図ります。
- ◆災害時の避難体制を構築するため、自主防災会や自治会などが中心となり、地域住民に呼び掛け、年に1回避難訓練を行います。

【人口、世帯数】情報統計課(令和3年1月1日現在)

【民生委員・児童委員数】福祉推進課(令和2年4月1日現在)

【保険推進員数】健康づくり支援課(令和2年3月31日現在)

【ボランティア団体数】市社協に登録しているボランティア団体数

(令和2年3月31日現在)

【老人クラブ数】川越市老人クラブ連合会に登録している老人クラブ数

(令和2年4月1日現在)

【福祉施設数】令和2年度「保健・医療・福祉のしおり」

地図と主な地域資源



福祉協力員等育成事業 ●名細公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	鯨井自治会館	⑫	平塚自治会館	㉓	市営小堤団地集会所
②	上戸自治会館	⑬	平塚新田自治会館	㉔	小堤東団地集会所
③	吉田自治会館	⑭	鯨井新田自治会館	㉕	小堤(小堤区)集会所
④	みよしの自治会集会所	⑮	みどり会自治会館	●	名細公民館
⑤	天沼新田自治会館	⑯	広谷新町自治会館	⊗	名細小
⑥	小堤自治会館	⑰	住友あおい自治会集会所	⊗	上戸小
⑦	天金山集会所	⑱	川越ビレジ集会所	⊗	広谷小
⑧	下広谷北自治会館	⑲	ハイラーク川越集会所	⊗	名細中
⑨	下広谷北自治会第2集会所(観音堂)	⑳	つくし会館	⊗	鯨井中
⑩	下広谷南自治会館	㉑	コミュニティ春日		
⑪	下小坂自治会館	㉒	県営小堤団地集会所		

地区別福祉プランは「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の一部として、市民、各種団体、事業者等による支え合い・助け合い活動を促進するため、地区社協が中心となって具体的な取り組みを定めました。

発行：名細地区社会福祉協議会
 編集：川越市社会福祉協議会
 〒350-0036 川越市小仙波町 2-50-2
 電話：049-225-5703